

1



2



3



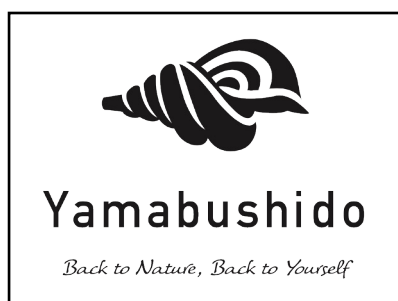
4



5



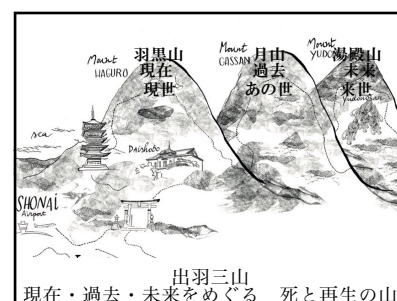
6



7



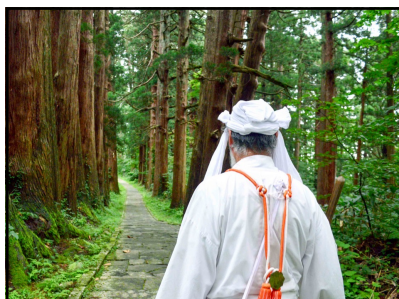
8



9



14



15



16



17



18



19



20



21



22



23



24



25



26

地域の精神文化体験を通じ、より
良い人生・日常・仕事、に貢献で
きる場を提供する。

27

地域の精神文化体験を通じ、より
良い人生・日常・仕事、に貢献で
きる場を提供する。

28

同時に
事業を通じ、地域の文化、自然・
環境、社会・経済が、持続可能に
できることを、目指している。

21世紀の課題

世界を、社会を、人間を、己を、
切り刻んで「分解」してしまった。
“分かる”とは「分ける」こと。

	〈全体性・中心性〉	VS	〈個別性・周縁性〉	
地球	… 自然	と	… 人類	(エコロジー問題)
国際	… 先進国	と	… 途上国	(南北問題)
国家	… 都会	と	… 地方	(一極集中問題)
人間	… 私	と	… あなた	(結婚・離婚・孤独死)
己	… 心	と	… 体	(自律神経失調)
		∞		

29

Local Authentic Innovation Yamabusido Case:

価値の再解釈

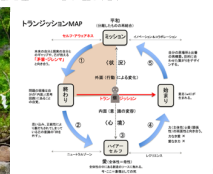
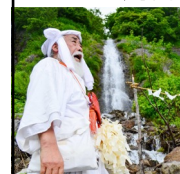


Yamabusido

Back to Nature, Back to Yourself

30

修験道・山伏、巡礼：伝統的精神文化 現代的価値の再構築



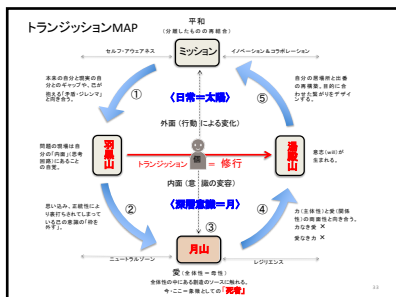
31

山伏修行プログラムのユニークネス

No Orientation	オリエンなし
No Interpretation	ガイドなし
No Interaction	私語厳禁
No Instruction	教えません
No Question	質問なし
No Introduction	自己紹介なし
I accept	

言っているのは"うけたもう"のみ
Be Here, Be now.
Don't Think, Just Feel.

32



33

Creative Class

経営者、アーティスト、武道家、シェフ
極めて高い評価

34

Creative Class

過去の参加者:
平均泊数: 4.2泊 1日消費平均単価: 4.4万
出羽三山に来るために、来日決定: 20%
初来日: 10%
リピーター: 4名、再来訪希望者: 多数

35

手が回っていない文化財保全
スギ並木: 特別天然記念物

42

手が回っていない文化財保全
スギ並木: 特別天然記念物

43

手が回っていない文化財保全
スギ並木: 特別天然記念物

緑を、保金利活用に活かす
文化財保全のロールモデルとして

44

ミッション
幸せで持続可能な家族・地域づくり
持続可能な地域づくりに寄与できる
観光事業への舵切り

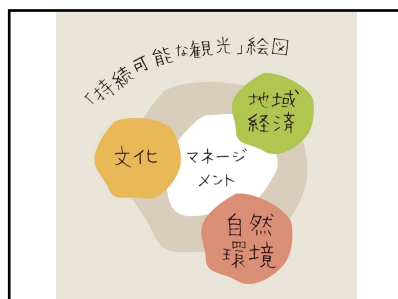
45

ミッション
幸せで持続可能な家族・地域づくり
かぎはマネージメント
国際認証の仕組みを利用した
事業の組み立て直し
地域社会経済・文化・自然環境

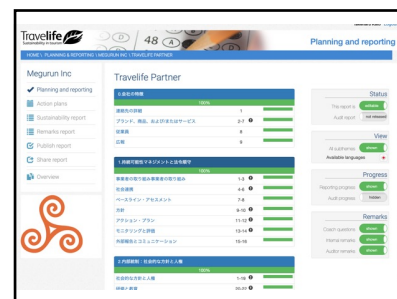
46



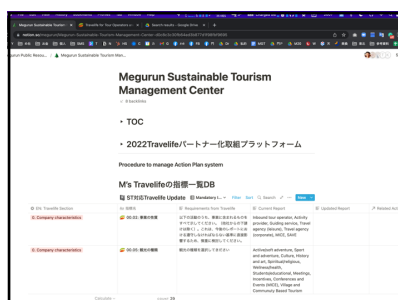
47



48



49



50

Local Authentic Innovation Yamabusido Case:
 価値の再解釈の対象をひろげていく
 専門家による現代的再解釈→高付加価値化
 ツール：サステイナブル・ツーリズム

51

死と再生

52

死と再生
 現代社会で
 意味があるのか

53

普遍的に
 求められる意味

54

現代社会に
 必要とされる価値提供
 トランジッションの場
 (変容)

55

「生まれ変わり」の意味
(トランジション・プロセス 死と再生)

終わり(死) → ニュートラルゾーン → 始まり(再生)

通過儀礼

「変化」とは状況が変わることであり、一方、「トランジション(変容)」とは心理的に変わること。つまり、トランジションとは必然的な出来事ではなく、自分の人生に起こった予期せぬ変化に対応するために必要な、内面的両方向付けや自分自身の再定義をすること。トランジションを伴わない変化は表面的であり本質的なものとはならない。トランジションが起こらなければ、変化は「受け取れない」ので機能しない。

変化 ≠ 変容

56

通過儀礼(ニュートラルゾーン)



いろいろな部落の(通過儀礼)において、住み慣れた故郷世界の境界を越えて馴染みのない領域に連れて行かれ、しばらくの間、そこに置き去りにされる。そこでは、人生のある局面から次の局面に移行することを促すために、しばしば古い記憶や情報を消し去る儀式が挿入される。

役割や人間関係や社会的習慣などの影響が及ばない所へ連れて行かれることで、今まで慣れ親しんだ社会的な文脈から切り離され象徴的な死を経験させられる。それから「ニュートラルゾーン」と呼ぶ孤立の時間がやってくる。古い生き方を断ち切り新しい生き方をする人の間にある「隙」でもない人の土地に行かされる。それは日常生活の現実的な意味を失ひたす力から離れて、存在そのもの向き合うことであり、そこでビジョンを直感する。そして、そこで期待された内的変化が生じると、その個人や集団は新しい役割を身につけて、かつての社会秩序に置き換えられ、再統合される。

57

トランジション・プロセスは、現代社会が最も経験してきた局面のひとつである。

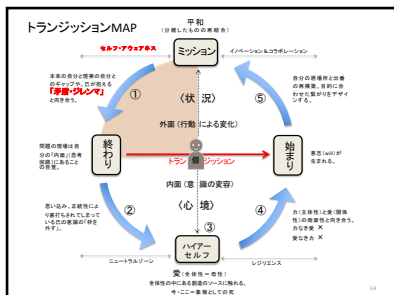
現代社会は効率性、合理性を求めざるばかりで、儀礼を通じてニュートラルゾーンを体系的に扱うことをやめてしまった。そのかわりに、個人的変化をまるで機械の修理のようなものとして振おうとしてきた。(簡一的、合理的 ≠ 個性(多様性)、創造的)



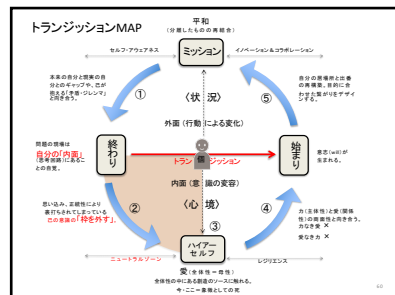
ニュートラルゾーンこそ自己変容の本質的機能が実行される最も重要な期間であり、これは外的な両方向付けや再定義が促される時間といえ、私たちが人生のある季節から他の季節へと移行する時期でもある。

創造的な人たちは常に再生の過程に、強い欲望や深い意として象徴されるこのニュートラルゾーンの中に引き込まれる。イエスや仏陀でも天降神というニュートラルゾーンの経験を手取りで通んだのであり、私たちの人生はそれよりも小さな瞬間かもしれないが、パターンは同じなのである。

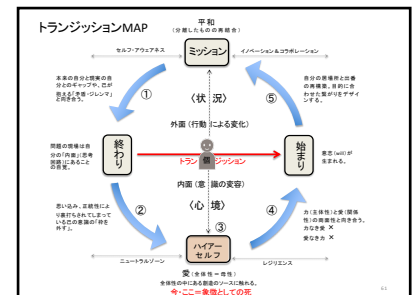
58



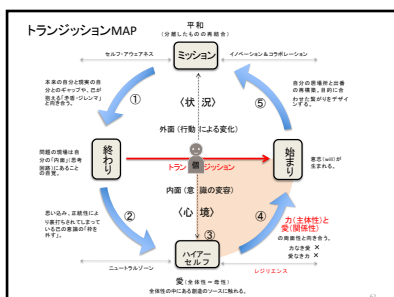
59



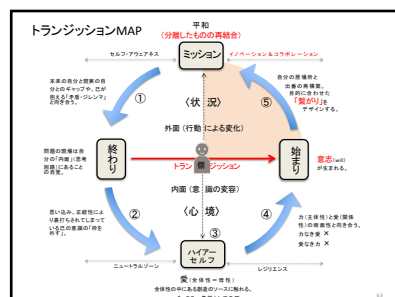
60



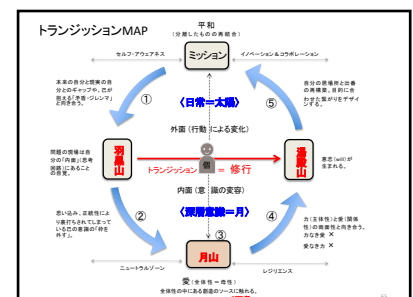
61



62



63



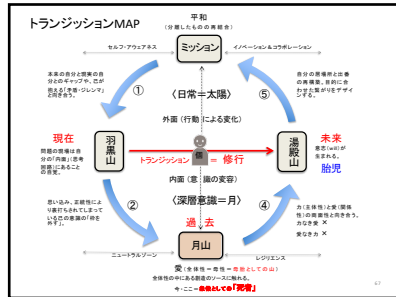
65

出羽三山のコスモロジー 死と再生＝『生まれ変わる』

羽黒修験の世界観では、太陽を象徴する羽黒山を「**現在**」、月を象徴する月山を「**過去**」、湯殿山を「**未来**」と位置づける。出羽三山を縦断することは、「空間」を移動するだけでなく、現在→過去→未来という「時間」をも旅することでもあり、日常と異なる時間、空間を通過することによって、これまでの自分を切離して（＝「死」＝過去）、心の「再生」を促す（＝未来）意味がある。

山伏が入峰していく時に、死装束に着替え、自分は死人だという思い切りをすると同時に、自分の体に母親の胎内から産まれてくる胎児の色々な部分を象徴化したものを身につけて山の奥へ入っていく。そして母親の胎内で次第に成長していく過程を山の中で再現し、最後に時流で「オギャー」と泣き声をあげながら新生児となって山頂から一気に駆け下りてくる。

66



67

1. 身をもって感じたことを考える「身体性＝野生の回復」
心 vs 身体 分離
魂（不健康＝神経の失調）
2. 生まれ変わり「死と再生 トランジション」
古い自分（過去） vs 新しい自分（未来）
執着 今・ここ（葛藤） 渴望
3. 聖と俗の架け橋「山伏的な生き方」
聖（全体・関係性） vs 俗（個・主体性）
権威による支配 実存（矛盾） 権威への依存

68

新たな山伏世界

ヒエラルキーの鎖国解除
（瀬織津姫の復活 2016年9月22日）

女性、都会の人、外国人に山が開放される

彼らの魂に期待に応えられる
新しい物語と語り部（人）が必要！

69

山伏修行

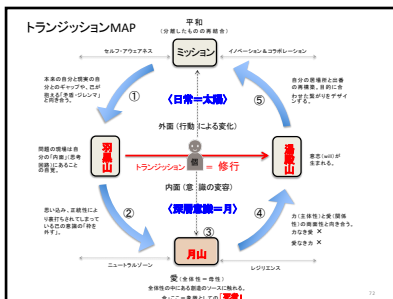
修行＝課題を解決するための場（リトリート）
課題＝分離している状態
解決＝そこに「結び」を与える

山伏＝その解決方法として
出羽三山の山を歩くこと

70

1. 身をもって感じたことを考える「身体性＝野生の回復」
心 vs 身体 分離
魂（不健康＝神経の失調）
2. 生まれ変わり「死と再生 トランジション」
古い自分（過去） vs 新しい自分（未来）
執着 今・ここ（葛藤） 渴望
3. 聖と俗の架け橋「山伏的な生き方」
聖（全体・関係性） vs 俗（個・主体性）
権威による支配 実存（矛盾） 権威への依存

71



72

21世紀の課題

世界を、社会を、人間を、己を、
切り刻んで「分断」してしまった。
“分かる”とは「分ける」こと。

（金銭性・中心性） vs （個別性・周縁性）

地球	...	自然	と	人類	（エコロジー問題）
国際	...	先進国	と	途上国	（南北問題）
国家	...	都会	と	地方	（一極集中問題）
人間	...	私	と	あなた	（結婚・離婚、孤独死）
己	...	心	と	体	（自律神経失調）

∞

73

修行の意義

霊的に覚醒する（霊能力を上げる）ことではない。
自分の願いが叶うことでもない。
二つとも、自分の都合（望み＝執着と渴望）でしかない。

霊格とは、人格であり
修行は人格（人間性）の向上を目指すもの。

分離していた状態に、結びを与える。
自分を棚上げしたまま世界（外側の状況）を変えるので
自分自身に「気づき」（アウェアネス）を与え
結果、自分自身が「変容」（トランジション）していくこと。
そのための場が「リトリート」。

74

祈り

祈りは、お願いごとではない。

祈りは「大いなる存在」に対して自分を開くこと。
(神、仏、宇宙、自然、山……。)

生きるではなく、「生かされている」ことを自覚すること。

結果、感謝の気持ち、畏敬の念という表現になっていく。

先達とは、修行者(俗)と大いなる存在(聖)を橋渡しする
(=導く)役。その方法論として、山に入る。

祈り



75

76

77



78



79



80

文化的価値を
経済的価値で
評価できる人

81

文化的価値を
経済的価値で
評価できる人
が、
海外の人中心

82

文化的価値を
経済的価値で
評価できる人
が、
海外の人中心
結果、インバウンド

83

文化的価値を
評価でき
共に広げていく
担い手

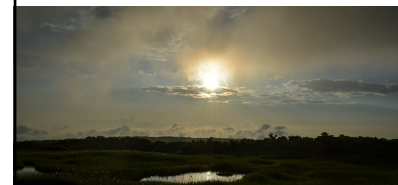
84

価値の再編集
×
実施が継続できる
仕組み作り

85

世界が求める
身体と心の再生トランジションセンター
Dewa center for rebirth

86



Megurun Inc.



87